

めあて

森林のおくりもの

富山和子

「森林のおくりもの」の文章の仕組みをさぐる

結論	本論	序論	構成
			内容
			段落
		ヨ	日本は、
		大昔から、	豊かな森林
			森林のおくりもの
			富田和子

教材文「森林のおくりもの」の全文を形式段落ごとに分けた模造紙やワークシートの拡大版を提示すると見やすい。

3 / 15 時間目 指導略案

ワークシート

活動のねらい

「森林のおくりもの」の文章構成を読み取ることができるようにする

毎時間、学習計画表で本時のめあてを確認する。

1 全文ワークシートを使って、キーワードをマーキングし内容の大体をつかみ意味段落にまとめる。

「森林」「おくりもの」を意味するキーワードをマーキングする  
意味段落にまとめる

(発問)「序論・本論・結論」の3つに分けてみよう  
(発問)マーキングしたキーワードや内容を基に、本論を6つに分けよう

・序論 ( 1 } 5 )	木材として	( 6 }	19
・本論	紙として	( 20 }	21
	火として	( 22 }	25
	川の水	( 26 }	29
	山の土	( 30 }	33
	水田の土と養分	( 34 }	36
・結論 ( 37 } 38 )			

2 全体で確認しながら構成ワークシートに整理する。

(発問)「6つのおくりもの」とは何でしょう。

【評価】中心となる言葉に注目し、まとまりごの内容を押さえながら文章の構成をまとめている。

3 文章構成についてまとめる。

意見文は、「序論・本論・結論」の構成でまとめることを確認する。

